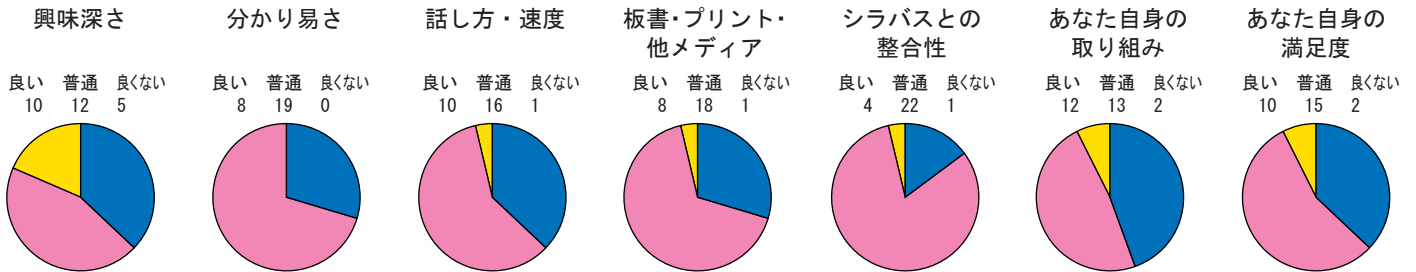


平成15年度1学期 生物学類授業評価

「専門語学(英語)Ⅱ」

回答者数：27名 履修申請生物学類生数：87名 (回答率31%)



良かった点

- ・積極的に自分で調べて、発表する練習になったと思う。
- ・自分で課題設定ができるところがよい。
- ・人前でプレゼンすることに慣れることができるので、とてもよい授業形式であると思う。
- ・個人の論文発表は生の情報を知ることが出来て新鮮だった。
- ・終始和やかに進んでいる。
- ・初めて論文を隅から隅まで読んでみることができ、とても勉強になった。他の人の論文発表も聞いていてとても面白い。
- ・発表を生徒自身が行うので評価のしようがない。そういった授業形式をとることについては特に問題はないと思う。
- ・非常に満足できる内容だった。次年度以降も本年と同じく取り組んでほしい。
- ・多くの、論文に半強制的に触れることで、その後の論文を読む機会に戸惑うことが無くなったこと。むしろ、色々読んでみようと思ったこと。
- ・自分のあまり知らない分野に関する論文の発表も聞くことができ、参考になってよかったと思う。
- ・先生の指導が熱心であったので、非常に勉強になったと思う。人数も丁度良かったと思う。

改善すべき点

- ・ある程度興味的一致する学生と履修したかった。
- ・進むスピードが遅かったり、早かったりまちまちである。
- ・現状維持で十分だが、1学期も先生を選んで先生の専門の範囲の論文を読むほうが 双方としてやり易いのではないのでしょうか。

担当教官のコメント

- ・学生さんによる論文紹介の際に、論文を1部手元におくことにより、もっと適切なコメントができたと思う。次回からはそうしたい。
- ・チューター制なので、コメントが誰をさしているのかわかりませんが、より興味が持てるように努力します。